

川島 佳子 (かわしまけいこ)

出身地 : 群馬県館林市
趣味 : 料理、スキー、映画、音楽、読書、
バレエ・ミュージカル等鑑賞、プリザーブドフラワー

<略 歴>

東京国際大学教養学部国際関係学科卒業。立教大学大学院文学研究科比較文明学専攻博士前期課程修了。比較文明学修士。

ヨネックス株式会社入社総務部総務課勤務、衆議院議員中山太郎（元外務大臣）秘書・コーディネーター、株式会社クローバーにじゅういち（会長：都倉俊一）入社 SP 事業部勤務・プロデューサー、文部省所管財団法人 国際児童交流財団ウェブニ千（会長：長嶋茂雄）職員・主事・事業プロデューサーを経て独立。現在、K & Associates International 代表・エグゼクティブプロデューサー、(株) チョウドリ ソフトウェア サービス 取締役 マーケティングマネジャー、「パーティーパーティ」及び「International Club」主宰、特定非営利活動法人「ちきゅう市民クラブ」理事・副会長・事務局長。「ピッコロ・ヴァイオリン研究会」代表。アーツアンドダンサーズ アソシエーション代表、上毛新聞社オピニオン委員。下村満子「生き方塾」応援団。財団法人日韓文化協会評議員。ロシアのバレエダンサー、イリーナペレンとマラトシェミウノフが福祉教育の社会貢献事業を行う IM 財団日本事務所代表。ロシアのアカデミー オブ コンテンポラリーアーツ Artex Awards 日本事務所代表。同アカデミー終身会員。

世界銀行東京開発ラーニングセンター キッズイニシアティブ「ICT を活用した子供の国際理解教育促進プロジェクト」アドバイザー。元東京ミュージック&メディアアーツ尚美の非常勤講師（地域の商品企画、地域の文化事業企画講座を担当。）全国商工会連合会地域プランナー、地域プランナー協会理事（1995年7月～1997年3月）第一回地域プランナー協会賞受賞。岩手県釜石市機械金属工業団地協同組合 13年度中小企業活路開拓調査・実現化事業専門委員。（財）地域活性化センターアドバイザー・コンサルタント。日本音楽芸術マネージメント学会等会員。ぐんま宣伝特派員。

専門分野：研究：比較文明学

修士論文：「比較文明的マーケティングに関する試論—地域の文化施設の活性化を目指して—」

（文化政策、生涯学習、アート・マネージメント、メディア論、広告論、異文化コミュニケーション、文化社会学、身体論、ファッション、欲望論、消費論、メセナ論、文化施設経営論、地域研究、マーケティング、公共機関や自治体のマーケティング、観光マーケティング、国際理解、国際協力論、国際関係論、文化と政治、文化と経済、）

プロフェッショナル：企画、演出、構成、プロデュース、キャスティング等

（企画、マーケティング、PR、コンセプトメイキング、イベント・映像等の企画制作・運営管理、地域プロジェクト・地域活性化コンサルティング、文化施設・文化事業・生涯教育コンサルティング、異文化理解コーディネーター、地域の文化経済、芸術家・文化人のマネージメント）

事業実績 ■文化施設等の企画・調査・提案・運営コンサル、教育プログラム開発等

「地球市民かながわプラザ」（あーすプラザ）（神奈川県）「近代文学館・メルヘン館」（鹿児島市）「北海道立北方四島交流センター」（北海道）、水平社歴史博物館、自衛隊浜松広報館、愛知万博サウジアラビア館、立命館大学平和ミュージアム他文化施設の調査企画提案、運営等コンサルティング。

■自治体、文化事業の企画提案・生涯学習コンサルティング、講演講師提案等

■商工団体等、地域活性化、人材育成、商品開発、セミナー講師、マーケティング等コンサルティング：大阪府岬町商工会、大阪府熊取町商工会、岐阜市商工会青年部リーダー講習会 神奈川県真鶴町駅前商店街活性化事業 岩手県地域プラットフォーム事業に係るワンストップ人材養成講習会カリキュラム作成セミナー講師（盛岡、花巻、一関、水沢、宮古、久慈、二戸、大船渡、釜石）他

■企業・団体等の周年記念事業の企画制作：

日本出版販売創立 50 周年記念事業「おはなしマラソン」企画。

福島民友新聞社創立 100 周年記念事業「地球環境フォーラム in 福島」企画、構成。

生協創立 50 周年記念事業 食のシンポジウム「食べる。たいせつ。」企画・構成。



シンポジウムをTV番組化：「金曜フォーラム」(NHK教育テレビ)番組構成。

■交流事業、文化事業等イベントの企画制作・TV番組制作：

ダンス・ファンタジー「原っぱ物語」、「バロック時代の宮廷舞踏と音楽」

ロバート・ジェームス・ウォーラー&筑紫哲也のトーク&ライブ

「夢の学校」(全国83校)、「カール・ルイスと夢の学校」(関西テレビ)

「がんばれオリンピック」(バルセロナから市長のメッセージを携えた子ども使節団の招聘、カール・ルイスはじめアスリート子どもたちとの交流事業)

「ワールド・チルドレン・フェスティバル」(米ソ・東西ドイツより子どもを120名招聘し、代々木体育館で開催された。ゴルバチョフ大統領、海部総理を招いての子供サミットでは、2人の首脳の平和の指きりが話題になった。)

■外国企業の日本でのプロモーション、スタートアップ支援コンサル等：ロシアのダイヤモンド会社アルロサ社の国際宝飾展ブースビジネスサポート、運営マニュアル作成、ロシア大使館及び帝国ホテルでのプロモーションレセプション開催サポート等、オランダサドルメーカーの日本レップ事務所マーケティング支援。その他外国企業の各種コンベンション、展示会ビジネスサポート

■「360Kカロリー、塩分2.2gの美味しいフレンチフルコース・ディナーサロン」(ロイヤルパークホテル、医療法人社団「こころとからだの元気プラザ」、館林市ジョイハウス他にて企画開催。糖尿病、ダイエット中の方にも、優雅な食事を家族と共に楽しめる特別な料理法の普及活動も行う。

■ピアニスト齋藤雅広のTV番組制作企画コーディネート

NHK教育「齋藤雅広の趣味悠々 かつこよく弾く簡単ピアノ講座」

NHK「きよしとこの夜」・NHK教育「親と子のTVスクール」

TV東京「たけしの誰でもピカソ」大人の楽器習得コーナー

日テレBS「ブラボー！クラシック」NHK名古屋ニューイヤーコンサート

■出版物等の編集・執筆等

『銚子港整備史』等、社史、団体関係史等 執筆編纂事業。

■映像制作・構成台本執筆等

「What is a Science Education Center」ブルネイ王国への文化施設プロモーションビデオの制作、構成

「近藤典子収納マジック1,2,3巻」ビデオ及びDVDの構成・演出。

傷痍軍人インタビュー、しょうけい館映像資料製作、企画構成

愛知万博「サウジアラビア館」のパノラマビジョン上映映像の制作コーディネート

■海外アーティストのマネジメント、プロデュース、招聘、コンサートツアー企画制作

*ロシアのピッコロ・ヴァイオリン奏者、グレゴリー・セドフのマネジメント、Japan Tourを2007年より毎年主催。2010年より、日ロ両政府の取り決めにより開始されたロシア文化フェスティバル公式事業に認定。皇后陛下美智子様をご鑑賞下さる。

2011年は、東北の震災直後、福島県でも演奏会、避難所への慰問。東京公演では、福島より避難されている皆様をご招待。

2012年は、沖縄名護市、姫路、岡山、滋賀、福島を含む17公演(小学校でのワークショップ、大学でのパネルディスカッション、レクチャーコンサート、ロシア大使館でのレセプション、ロシア政府要人が特別機で来日し、大阪で開催された「ロシア文化フェスティバルオープニングレセプション」での特別記念演奏等)

NHKBS「エル・ムンド」WOWOW「ザ・プライムショー他、TV出演 コーディネート。

2015年、「福島の為に祈る」と題し日本の曲をあつめたDVDをグレゴリー・セドフと共に制作、ウイーンでの国際コンペティションマルチメディア部門で優勝し、そのプロデューサーとして、ディプロマとメダルを頂く。その後、2017年より、このDVDと合わせて生演奏をする形式のコンサート、朗読とマイムとのコラボコンサート「福島の為に祈る」をロシアのサンクトペテルブルグ、インテリア劇場にて、プロデュース、高い評価を受ける。2020年3月11日に同劇場で開催した、「福島の為に祈る」は、上皇后陛下美智様が、映像による詩の朗読でオ

オープニングを飾って下さった。

ピッコロ・ヴァイオリン普及活動の成果として、正式にサンクトペテルブルグ国立音楽院の第二専攻楽器と認められ、その功績を学長より讃えられる。**2021年12月文化庁 Arts for the Future 採択事業「ピッコロヴァイオリン 音楽の新たな地平を拓く3D コンサート一時空をこえてーコロナ禍における積極的な挑戦2ー」**をプロデュース。世界初のホログラムを使って、海外にいる演奏家と日本にいる演奏家、舞踊家との音楽との共演を演出。**2022年**も文化庁 Arts for the Future 2で、「ピッコロヴァイオリン 芸術の新たな地平を拓くガラコンサート Arts for All」が、採択され、出演者総勢70名の大コンサートを主催。

*メキシコ人ピアニスト、アレハンドロ・ベラのマネジメント、プロデュース。ジャパンツアーを2012からプロデュース。岡山、名古屋、群馬、沖縄、広島、京都、長野、東京各地、東京国立博物館、メキシコ大使公邸等で演奏会、及び公開レッスン企画プロデュース。NHKBS「エル・ムンド」TV出演 コーディネート。

*ロシア国家名誉芸術家、ミハイロフスキー国立劇場プリンシパルダンサー、イリーナ・ペレン、マラト・シェミウノフのマネジメント及び日本ツアー主催（ロシア文化フェスティバル公式プログラム）、名古屋、群馬、東京公演他、トークショー、ワークショップ、コンクールの審査員、ロシア大使館での新春特別ガラ&パーティー等毎年2回企画プロデュース及び主催。2017年、在大阪ロシア総領事館でプロデュースした「ロシアの芸術美」バレエガラコンサートは、ロシアのTV番組及びモスクワ大学のウェブサイトで、プロデューサーとして紹介された。2021年11月、4省庁による特別協議を経て、ロシアより招聘を実現し、文化庁 Arts for the Future 採択事業「日露芸術美の饗宴」バレエガラーコロナ禍における積極的な挑戦ーをプロデュース。日本初ホログラムを使った3D バーチャルとリアルの共演の演出は話題に。**2022年**も、文化庁 Arts for the Future 2に、企画プロデュースプロジェクト「イリーナペレン、マラトシェミウノフ ディアギレフ生誕150周年記念 オマーージュ バレエリュス ガラーコロナ禍における積極的な挑戦IIー」が採択された。

*日本のバレエを習う小学生～高校生のロシア、レッスンツアー及びエルミタージュ劇場でのマリンスキー劇場及びミハイロフスキー劇場のトップダンサーと共演のガラ公演を企画プロデュース。在サンクトペテルブルグ総領事、領事を囲んで、出演者、参加者との懇親昼食会開催。

*オーストリアのヴァイオリニスト、ヨハネス・フライシュマンのマネジメント、プロデュース。ジャパンツアー主催。オーストリア大使公邸他、北海道、群馬、埼玉、大阪でのコンサートツアー主催。オーストリア大使公邸では、毎年3回主催を任される。

*ウイーン楽友協会で開催された、群馬を中心としたジュニアオーケストラの公演では、ソリストとしてヨハネス・フライシュマンが共演した。また、札幌のピアノを習う青少年のため、ウイーン在住のレジェンド的ピアニスト、ノーマン・シェトラのホームコンサートを企画するなど、芸術文化を核とした地域の人材育成、教育事業を企画。

*筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科生徒及び卒業生支援コンサート、都立青山特別支援学校児童の絵画展、及び海外の演奏家、芸術家との共演フェスティバル等企画・プロデュース。視覚障害の音楽家支援のため、2018年より「パラリンピックからパラアーツ」「ミュージックフォー オール」など、海外の演奏家と共演の演奏会をプロジェクト化し、継続。

*ドイツの著名なチェリスト、ユリウス・ベルガーから日本及びアジアでのエージェントとして依頼を受け、マネジメントを担当。丹波国際音楽祭、シューベルティアーデたんばへの出演及び上海チェロフェスティバルへの出演をコーディネート。同様に、フランクフルト音楽大学最年少で教授となった、ピアニスト、ベートーベン国際コンクール優勝者、オリバー・ケルンのエージェントとしても指名、依頼を受ける。

*芸術文化を核とした国際交流及び教育事業、社会貢献事業を行い、海外のアーティストとの共演の機会を日本の青少年に与え、継続することで、多くのコンクールの優勝、海外バレエ団入団など、大きな成果をあげている。また、それらの人材が、里帰りのように、その後も公演に参加してくれ、世界中に大きなファミリーが広がっている。

特筆すべきとしては、ロシアへのバレエレッスンツアーに参加し、その後もこの国際交流教育事業に参加した中には、女優デビューし、日本アカデミー賞新人賞を獲得した方も。その他、参加者は、世界中で活躍。

■CD、DVD の制作：

グレゴリー・セドフの「AMOR」CD制作、企業のプロモーション関連及び自治体の記録DVD他、NHK教育「齋藤雅広 趣味悠々、かっこよく弾く簡単ピアノ講座」TV番組のDVD化などの制作コーディネート。

■講演・ワークショップ・セミナー等の企画・キャスティング：

日立電子サービス、シマンテック等、企業のエグゼクティブ・セミナー企画、講師ブッキング。文化講演会、市民大学講座等セミナー、シンポジウムの企画。

■各国の大使館や大使公邸などでのコンサート、バレエ公演および交流パーティーや大使・大使夫人による講演会、文化フォーラム、コンサート等文化事業企画、主催。

(ロシア、オーストリア、ポーランド、ハンガリー、ルーマニア、サウジアラビア、イラン、エジプト、キューバ、メキシコ、ベトナム、インド、アンゴラ等)

■各国大使館商務部との協力によるビジネス コーディネート。日本参入をコーディネートしたボルドーのクロスダディブランドのソルティエニュ ワインは、ワインチャレンジ1位ゴールドメダルを受賞。

■NPOの活動として、小学校、幼稚園など教育施設での異文化理解ワークショップ、料理教室、コンサート、音楽鑑賞会などを企画し、教材開発など教育活動にも力をいれている。

■その他各種コーディネート：国際的陸上選手の企業陸上部への紹介、海外スポーツ選手、文化人等の出演、執筆、メッセージ等、TV番組取材等

別府大分マラソン大会への国際的メジャー選手招聘のため、IAAFのカレンダー कांग्रेस (トルコ) にて、参加交渉コーディネート。MDI (現：レオパレス21、亜細亜大学への世界10~20位ランクの中距離選手招聘に関するコーディネートなど。

執筆：文部省科学研究費助成研究『カルチャーマネージメントの現状と展望に関する研究』立教大学大学院、共同研究

コラム「オピニオン21」『上毛新聞』1999. 12~2000. 10

コラム「オピニオン21」『上毛新聞』2010. 12~2011. 10

『立教』2001、Summer、 『久友』2001、9

分離技術シリーズ17 『プロセス産業向けシミュレータ集覧』分離技術会編 共同執筆

「音楽音響研究会」ジャーナル 「カーリン・ハッチンスのピッコロ・ヴァイオリンー新しい音楽の地平」
社団法人 日本音響学会、情報処理学会、音楽情報科学研究会共催学会研究会発表資料、2012、6月2、3日@東京大学

「日本音楽芸術マネジメント学会」で発表：2013年12月、学会誌で現場レポート執筆：2014年6号

『天啓愛人と仲間たち』田村重信・屋宮直達編、共同執筆、内外出版株式会社、2021年2月。罌堂ブックオブザイヤー2021相馬雪香特別賞受賞。

受賞：カワイ・サウンド技術音楽振興財団研究助成金：2013年7月~2014年6月

オーストリア モーツァルト記念国際コンペティションマルチメディア部門1位 ディプロマとメダル受賞。

ロシアのアカデミー オブ コンテンポラリー アーツが主催する国際コンクール Artex Awards において、国際プロジェクト「福島の為に祈る」が、Art Project プロフェッショナル部門でのみねートされ、Gold Medal AEA-2021 を受賞。これを機に、同アカデミー終身会員に。Artex Awards 日本事務所代表となる。

出版コーディネート：「やさしい流」朝日新聞出版 2版 (2013年2月決定)

インタビュー記事：「TIU(Tokyo International University)ニュース」2000、5

『「勉強」の世紀』(洋泉社)『エグゼクティブ』2000、9 (ダイヤモンド社) 他

インターネット取材：「物語TV」なでしこチャンネル

ラジオ：ミュージックバード 東京FM デジタル ラジオ「ピッコロ・ヴァイオリンって？」

ゲスト出演 (1時間) その後も、ミュージックバードには、グレゴリー・セドフと共に、また、アレハンドロ・ベラと共に数度出演。

TBSラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」ゲスト出演 (1時間)

NHKFM ラジオ「アニソン・アカデミー」にヨハネス・フライシュマン、アレハンドロ・ベラと出演。

TV：群馬TV情報番組、京都KBS「ほじボジたまご」、WOWOW「ザ・プライムショー」

NHKBS1「エル・ムンド」等

対談：館林市長対談 (館林市広報、2001年新世紀新春号)

オーラルヒストリー：沖縄伝統工芸家等への取材、傷痍軍人及び家族への取材、金沢県、滋賀県、愛媛県新居浜市、埼玉県古河市、大分県湯布院、茨城県水戸市の文化事業、政策担当者、文化施設担当者、地域のボランティア、観光・文化事業関係者等への取材。

司会・コーディネーター：オーストリア、ベトナム、サウジアラビア、イラン、エジプト、トルコ、キューバ、ルーマニア、ポーランド、ハンガリー、ロシア、インド、メキシコなど各国大使館及び大使公邸での交流事業・パーティーでの司会、同各国大使夫人の講演会での司会他、自治体、各種団体等のパネルディスカッションやシンポジウムでの司会・コーディネーター。

特筆事項：皇后陛下美智子様がピッコロ・ヴァイオリン奏者、グレゴリー・セドフの演奏会にお出まし下さった際には、主催者として、お出迎え・お見送り、お隣席でのご説明係を担った。

2019年11月、ドイツのチェリスト、ユリウス・ベルガー来日時に、ベルガー氏と共に、御所にお招き頂く。

2020年3月11日、ロシア、サンクトペテルブルグで開催した、グレゴリー・セドフとのプロジェクト「福島のために祈る」という日本の曲の演奏会では、**美智様**が、**ビデオによる詩の朗読**で、**ご参加頂き、オープニングを飾って下さった**。この事業は、ロシアのアカデミーオブコンテンポラリーアーツ主催の Artex Awards、プロフェッショナルアートプロジェクト部門で、金メダルを受賞。これにより、ロシアの同アカデミーの終身会員に叙せられる。